名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
天津大学建築学院

2025 年度国際建築・都市設計ワークショップ

“Regeneration of Closed School Site as Sociocultural Hub in Nagoya’ s City Center”

大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースでは、2025 年 4 月 21 日（月）から 25 日（金）までの 5 日間、名古屋大学東山キャンパス環境総合館 1 階レクチャーホールを会場として、中国の天津大学建築学院（T-Arch）と建築・都市設計ワークショップ（以下、WS）を開催しました。今回は T-Arch から建築、都市計画、ランドスケープを専攻する 4 名の大学院生と 11 名の学部生、名古屋大学建築学コースの大学院生 10 名（うち 4 名は NUPACE 生）の計 25 名が参加しました。WS の指導は T-Arch の鄭穎副教授、張蕾副教授、本学の小松尚教授と李燕講師（工学研究科）、斉藤孝治助教、項一朗助教、そして 4 名のティーチング・アシスタント（修士 2 年）が行いました。本 WS は，2015 年度に天津大学と締結した学術交流協定に基づいて，本学の建築学コースと天津大学の修士課程相当の学生を対象に，英語を共通言語にして一つの建築・都市デザインを提案する機会として開催しています。2019 年度までは毎年 4 月に名古屋で，9 月にパリに赴き，実際に現地見学を行いながら WS を実施してきましたが，2020 年度からは新型コロナウイルス感染症の世界的流行により，2021 年度と 2022 はオンライン形式で開催しました。（2009 年度から 2021 年度はフランスのパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校（ENSA-PVS）と共同で開催。天津大学は 2015 年から参画。）例年、4 月に名古屋で、9 月にパリで WS を実施しており、今回は通算 26 回目の WS となります。コロナ禍の 2020 年度から 2022 年度までは対面での WS は開催ができず、2021 年と 2022 年度はオンラインで開催しました。2023 年度と 2024 年度は、天津大学は中国の国内事情のため、参加を見送りましたので、今回は 3 年ぶりに天津大学と共同で開催、5 年ぶりに天津大学と対面で開催しました。また、今回、ENSA-PVS は大学の事情により残念ながら不参加でした。

今回のテーマは、「Regeneration of Closed School Site as Sociocultural Hub in Nagoya’ s City Center」。名古屋・伏見の旧御園小学校跡地とその南の小公園を社会文化的な交流拠点として一体的に再整備するという課題です。小学校敷地の南側に位置する公園は、名古屋・伏見エリアで唯一の緑地となっており、都市において自然とふれあう貴重な空間となっています。今回の課題では、小学校と小公園を一体的につなぎ、小学校校舎の公共施設としての歴史的価値を保存しつつ、周辺住民や利用者が楽しく交流できる新たな社会文化的な公共空間へと再編する提案を求めました。

WS は初日の午前に導入の講義を行った後、日中および NUPACE 学生による混成グループ（1 グループ 6～7 名）に分かれて、旧御園小学校跡地、校舎とその南の小公園の現地調査を行い、現状分析と提案に向けての議論を開始しました。2 日目の午前には、豊田講堂（槇文彦氏設計）見学を行い、豊田講堂から本学内に新設された ComoNe、中央図書館、さらに名古屋の都心を結ぶグリーンベルトを体感しました。3 日目は ComoNe の見学及び中間発表会、張蕾副教授によるランドスケープデザインに関する講義を行い、分析結果の妥当性やデザイン提案の方向性を確認しました。4 日目からは提案を伝達・表現する図面や模型制作に集中し、5 日目の夕方には成果発表会を行いました。成果発表会では、各グループの分析結果とデザイン提案が A1 版 4 枚の図面と模型を用いて発表しました。発表には、担当教員だけでなく、建築教員や博士後期課程の学生、名古屋市教育委員会の職員も出席し、各提案に対して、面白さや合理性、今後のにおける課題などについて意見交換を行いました。5 日間という短い時間でしたが、いずれの提案も、公園を含めた旧御園小学校跡地の再整備事業に対して、都市・ランドスケープ・建築・人間それぞれのスケールでの空間デザインにおいて、創造的な参考となる提案を提示することができました。

本パンフレットは、WS の成果物をまとめたものです。

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
天津大学建築学院

交流実績

2009 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2009
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 40 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>

2009 年 9 月 : Japan Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>

2009 年 9 月 : 名古屋大学大学院環境学研究科とパリヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の
間で学術交流協定及び覚書を締結
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>

2010 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2010
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、GSES-NU 大学院生 36 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>

2010 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2010-2
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>

2011 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2011
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>

2012 年 4 月 : 国際建築都市設計ワークショップ 2012
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、GSES-NU 大学院生 27 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>

2012 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2012
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>

2013 年 4-5 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 17 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>

2013 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2013
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130916/index.html>

2014 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2014
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 21 名、天津大学 1 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>

2014 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2014
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 26 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 4 名が参加)
報告記事 http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140922/index.html

2015 年 5 月 : GSES-NU/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2015
(会場 : 名古屋、GSES-NU 大学院生 17 名、天津大学 8 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150525/index.html>

2015 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2015
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 約 60 名、GSES-NU 大学院生 6 名、天津大学 2 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150914/index.html>

2016 年 2 月 : 名古屋大学大学院環境学研究科と天津大学建築学院の間で学術交流協定及び覚書を締結

2016 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2016
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 14 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20160425/index.html>

2017 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2017
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 22 名、天津大学 14 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20170417/index.html>

2017 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2017
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 約 60 名、GSES-NU 大学院生 6 名、天津大学 7 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20170918/index.html>

2018 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2018
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 17 名、GSES-NU 大学院生 24 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20180423/index.html>

2018 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築・都市設計ワークショップ 2019
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 80 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 11 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20180917/index.html>

2019 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2019
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 14 名、GSES-NU 大学院生 20 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20190422/index.html>

2019 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2019
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 80 名、GSES-NU 大学院生 11 名、天津大学 5 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20190916/index.html>

2021 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/TIANJIN Univ. 合同建築・都市設計ワークショップ 2021
(会場 : オンライン、ENSA-PVS 大学院生 19 名、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20210417/index.html>

2022 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2022
(会場 : オンライン、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20220423/index.html>

2023 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2023
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 15 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20230424/index.html>

2023 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2023
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.jp/news/20230925/index.html>

2024 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2024
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.jp/topics/20240923/index.html>

2025 年 4 月 : GSES-NU/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2025
(会場 : 名古屋、天津大学 15 名、GSES-NU 大学院生 10 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/topics/20250421/index.html>

*2011 年 4 月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。

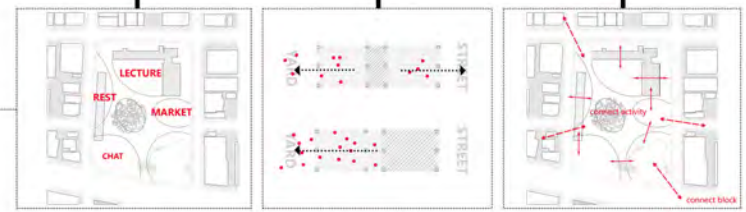
ENCOUNTER

CONCEPT

+ ISSUES — **Segregation of connections**
  - Connections disappear due to children reduced
  - Single-space lack possibility to build connections

+ CONCEPT — **Build connections** by creating **changeable spaces** to fit for different situations

+ STRATEGY



Community
Meeting Diverse Daily Needs

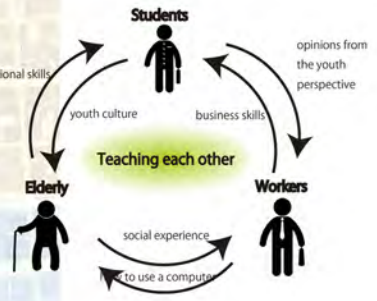
Changeability
Sustained Spatial Utilization

Connection
Fostering Diverse Interaction

SITE ANALYSES

Expanding the characteristics of the elementary school

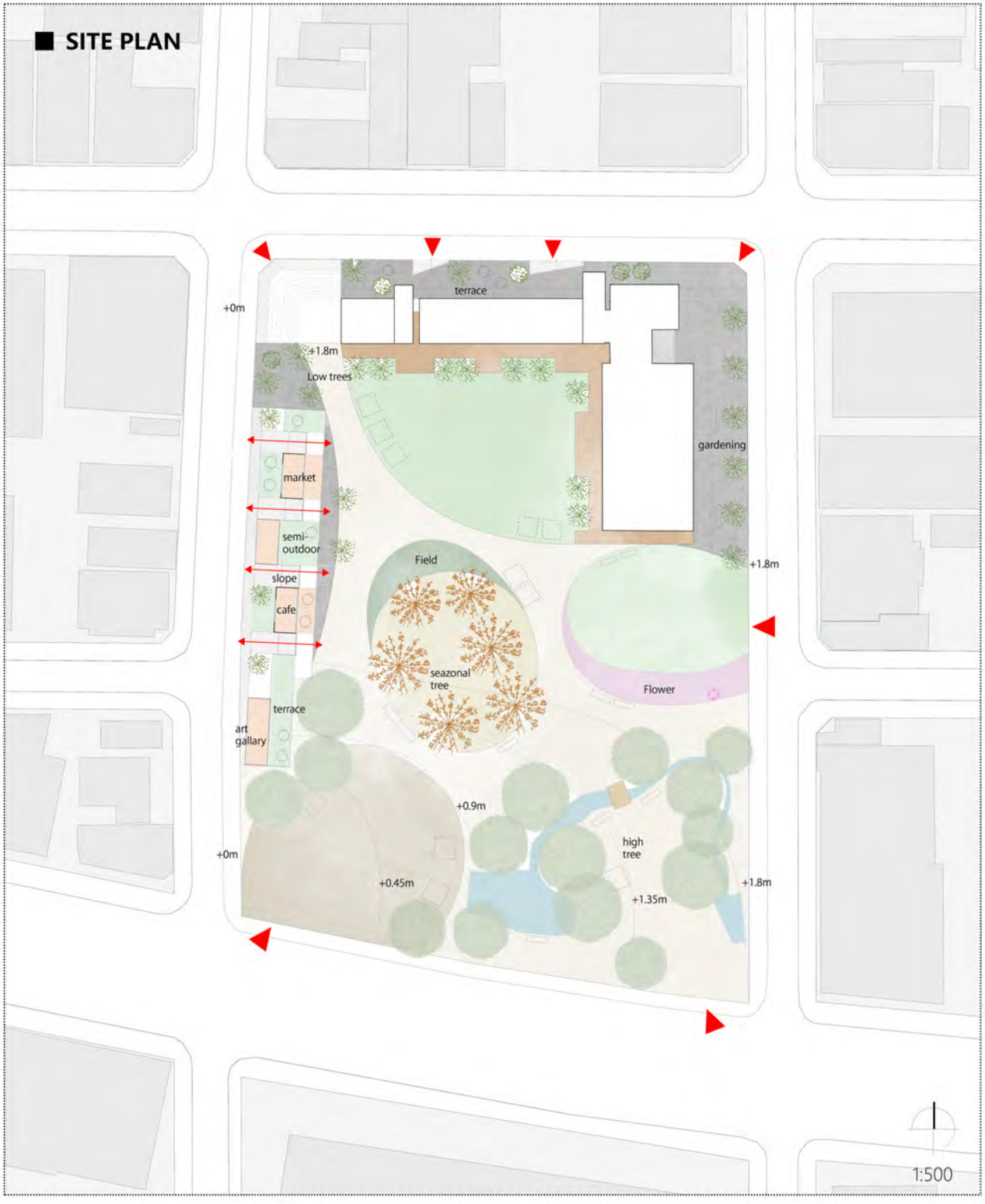
- Students can learn the knowledge of their predecessors
- workers can learn ideas that will be useful for their work
- the elderly can learn about the new technology and society



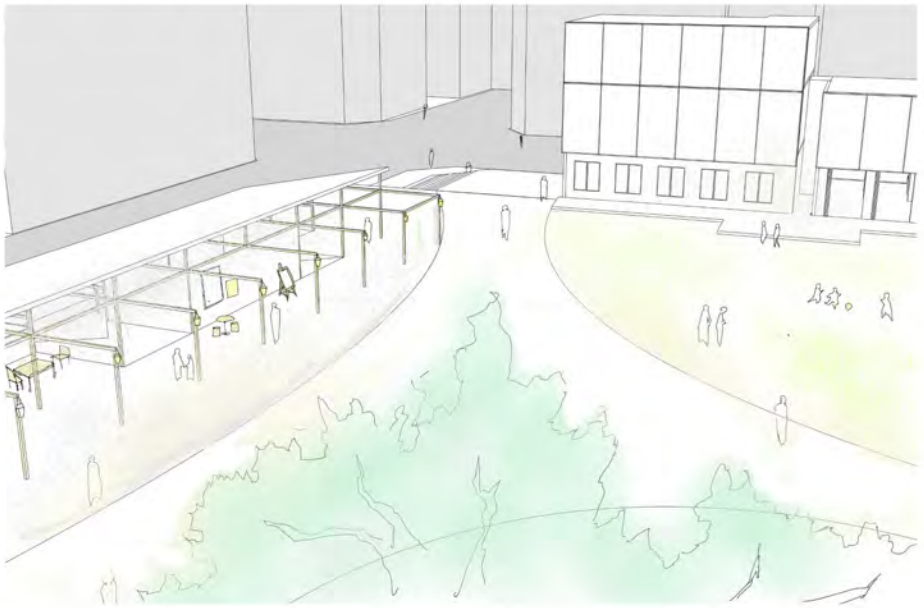
SITE FEATURE

- Different types of people:
  Workers, residents, students, and the diverse connections they make
- Continuously changing:
  The site is located in a busy neighborhood where crowd activity can change rapidly over time

SITE PLAN



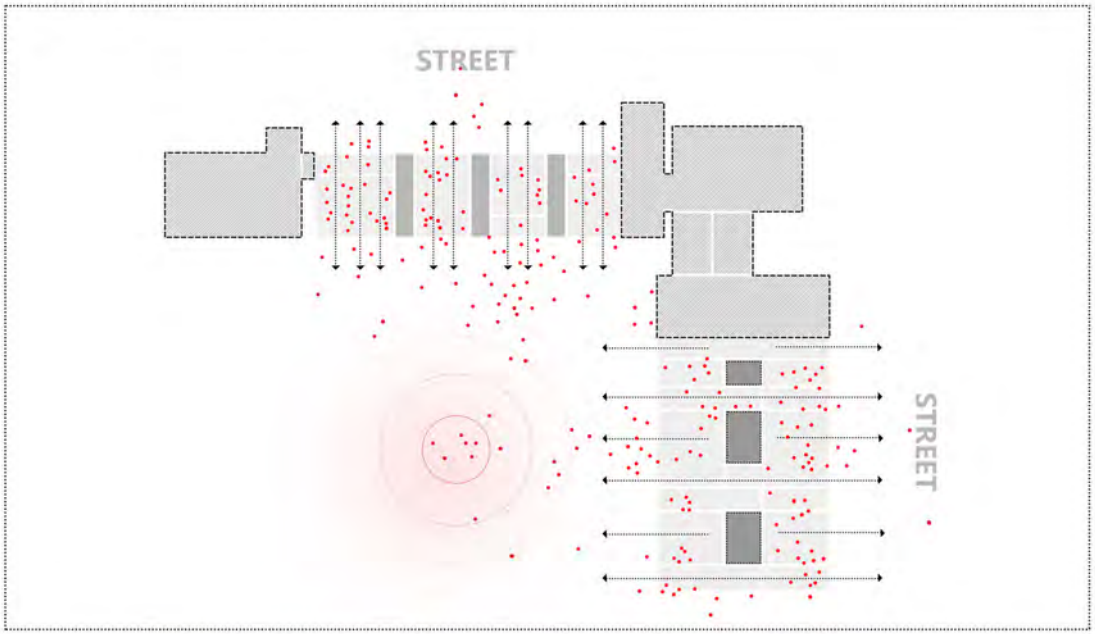
NORMAL



FESTIVAL

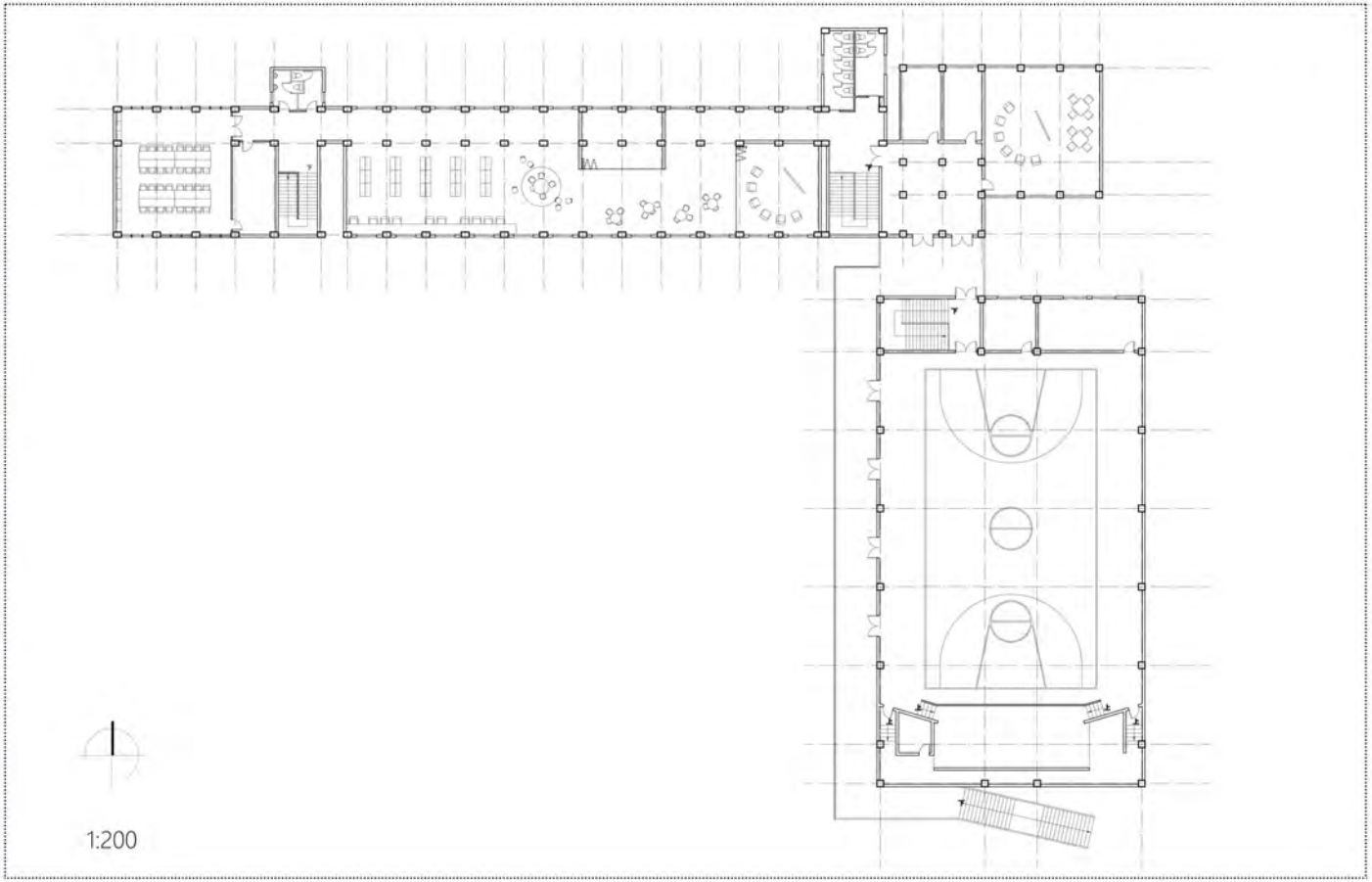
NORMAL

FESTIVAL

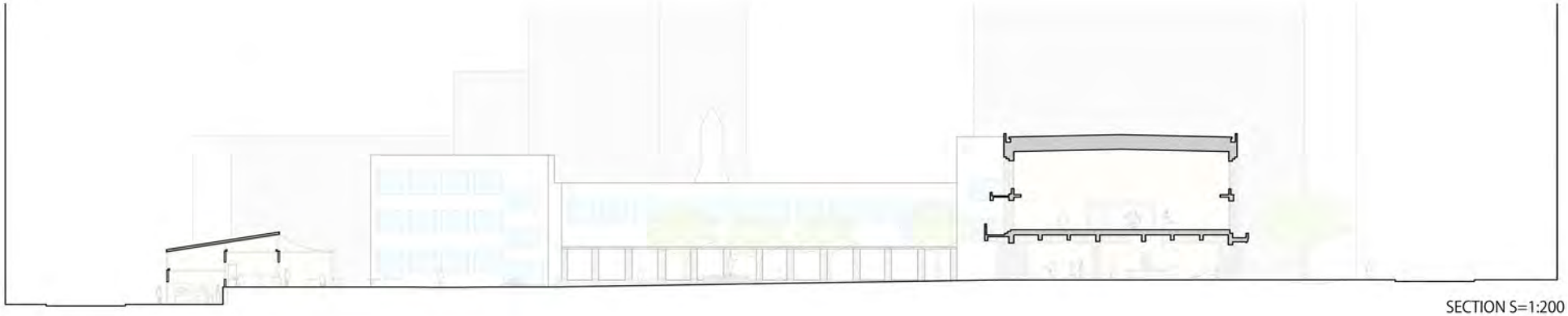


■ SECTION

■ SECOND FLOOR



■ SECTION



SECTION S=1:200

General Plan of Landscape Architecture
Second skin

The design starts from the original site, adding a "skin" that spans the entire area. This "skin" extends the mountain and water systems on the north side of the original Shimozomo Park to the northern site, constructing a landscape space. As a result, it creates the Mountain Square, the Water Square, and the Forest Square within the park, providing an interactive experience between nature and architecture.

设计从原有的场地出发，增添了skin横跨整个场地，延长了原有下园公园北面的山系和水系到北面场地，构建了山水空间，从而给公园形成了山之广场，水之广场与森之广场，从而带来自然与建筑互动的体验。

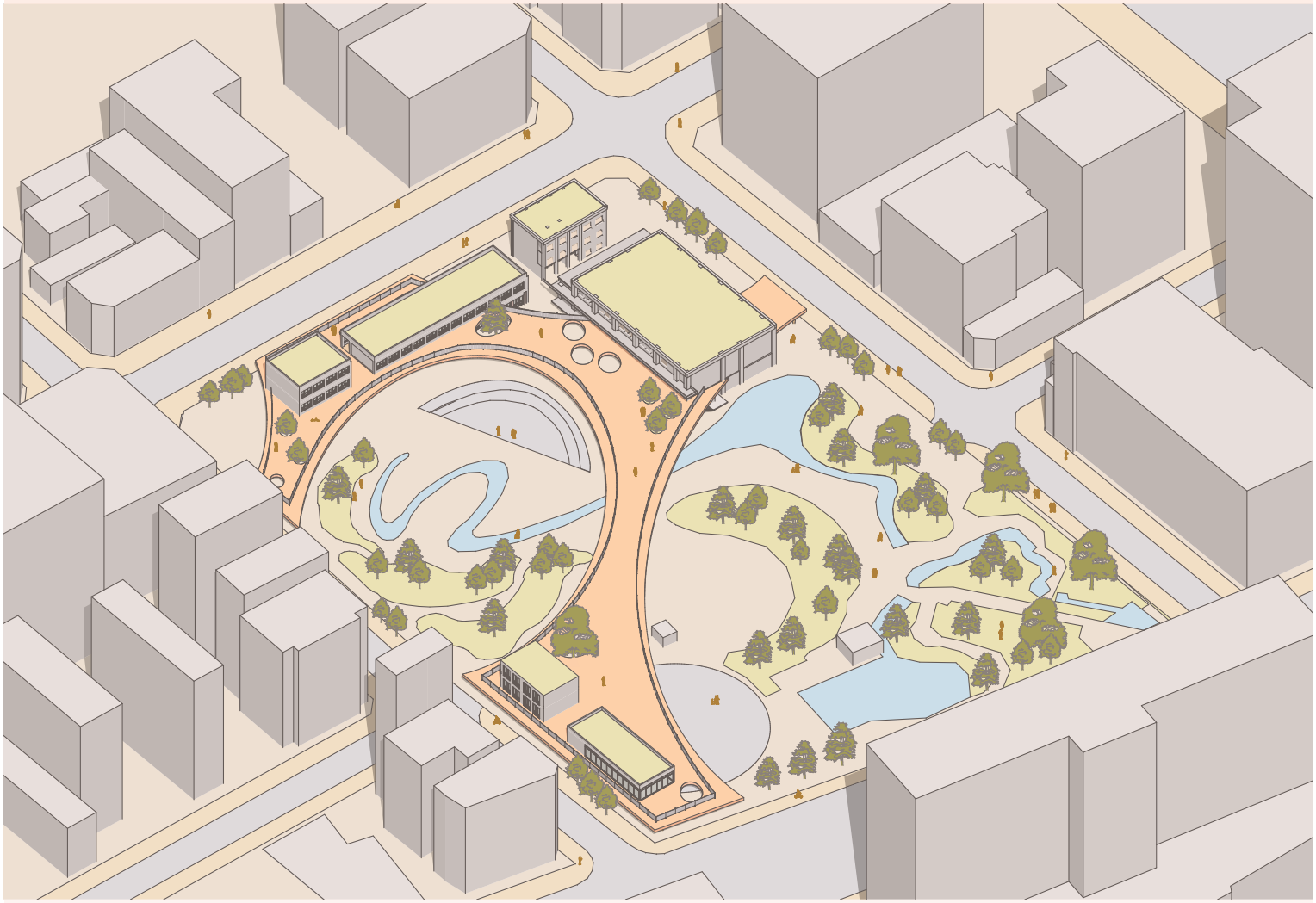
このデザインは、元の敷地を起点に、敷地全体を横断する「skin」を新たに設けました。これにより、元の shimozomo 公園の北側にある山脈と水系を北側の敷地まで延長し、山水空間を構築しました。その結果、公園内には山の広場、水の広場、森の広場が形成され、自然と建築が調和したインタラクティブな体験をもたらします。

1. skin
2. plaza of mountain
3. plaza of water
4. mountain
5. entrance
6. plaza of forest
7. shimozomo park
8. plaza

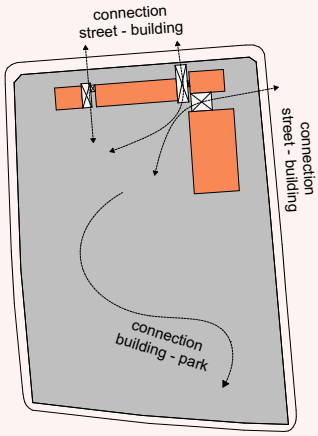
Concept
Second skin

Second Skin envisions a new architectural layer flowing through existing buildings and parks, radicaly weaving a continuous thread across the urban landscape. This structure acts as a mediator— it overlaying the city with a connective tissue that enhances and unites. It forms a cohesive urban concept while simultaneously carving out smaller, peaceful pockets of public space for reflection, gathering, and pause.

This layered structure—part shelter, part passage—becomes a dynamic participant in the life of the city. It flows like a ribbon through park, between old façades, and across forgotten in-betweens, becoming both a unifier and a space-maker. In doing so, Second Skin offers a renewed sense of place: one that acknowledges the past, adapts to the present, and invites the future with openness and care.

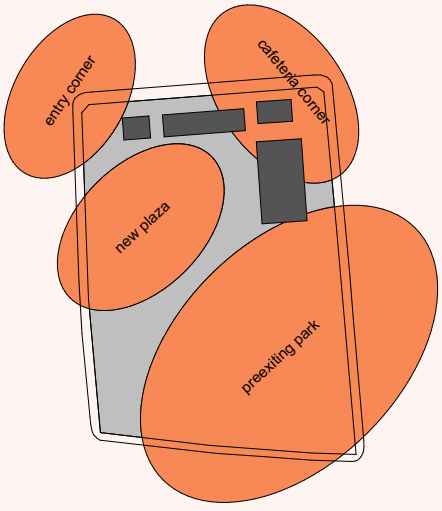


Mass analysis
Shaping the skin



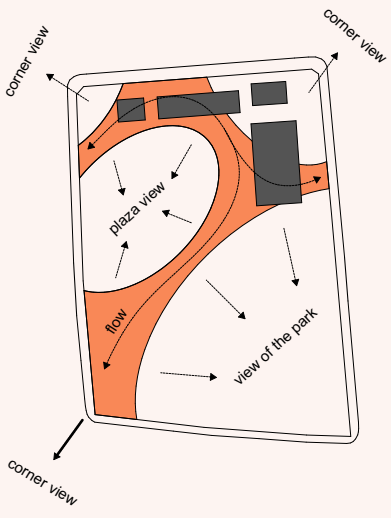
Passages

By removing non-functional parts of the park we create passages from the street to the building and in result, to the park.



Marking important places

The shapes is created by substracting oval-shaped masses, that mark preexisting park, place for new plaza and corner entrances.



Lifting the communication

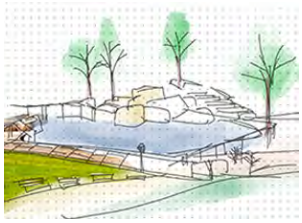
By lifting the shape to a second floor, we creat additional level of walking, providing view and sanctuary from the street

Second Skin

connect the water system and green landscape
with the original park

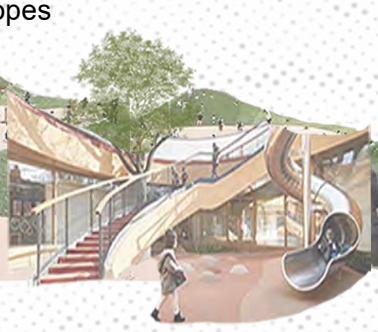
Park & Landscape

grass hill slopes for children to play
stairs around the trees allow for upward mobility
slides for children to play on
sunken plaza in the open spaces of the park



grass hill slopes

stairs aroung the tree

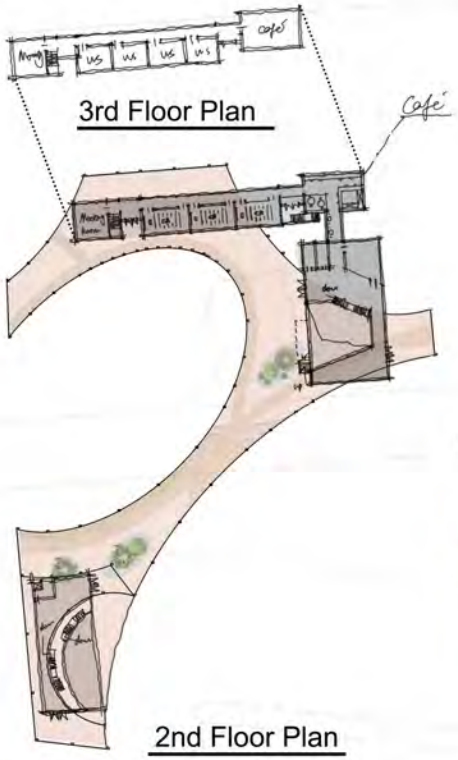


sunken plaza

wading pool

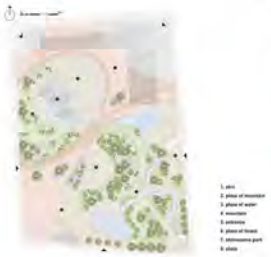
original park

Technical Drawings



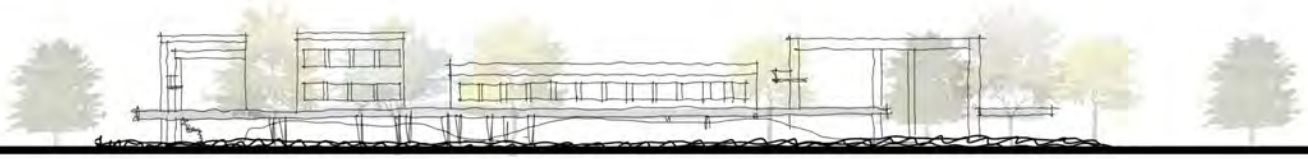
3rd Floor Plan

2nd Floor Plan



General Plan

1st Floor Plan



South Elevation

East Elevation

Section 1-1

Section 2-2

ENERGY BELT

Background

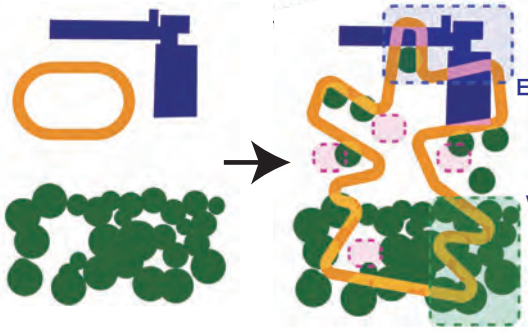
grouped loneliness

Even when a group of people gather to smoke and eat lunch, they still lack communication.

enhance active

Accoording to Fushimi master plan,
it is important to enjoy walking or to create a circulation.
bring back the energy once created by elementary school.

Proposal ENERGY BELT



ENERGY BELT → Phsical energy
Mental energy
Social energy

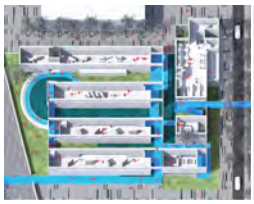
Exercise and sports would bring health and energy to the people who spend time here.

not only **physical** but also **social** and **mental** enargy were important.

walking along the belt could incidentally **allow them to see each other's activities** and **draw people into the greenery**.

The BELT also represent signature of every worker. With the belt, it can tighten connections between people, local and our site.

Inspired by Chinese sports parks and schoolyard runways.



The interior could continue the design of the outdoor runway with a colored material transportation space linking the three stories of the building.

Site issue

Height difference

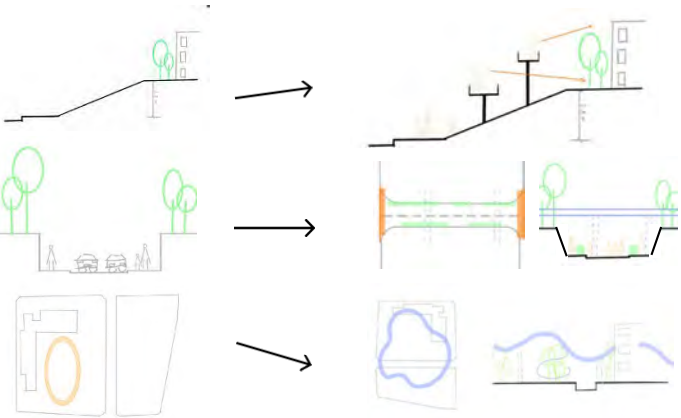
There is a 1.8 meter height difference between the east and west sides of the site, which blocks views and reduces accessibility to the west side of the building.

Few usage of the middle road

The road separating the school from the park is narrower, only 11 meters wide, and has less traffic.

Building lack connection with park

The elementary school building is spatially separated from the park by a road, and there is less visual communication due to the height difference in sight lines



Strategy

Make use of the Height difference

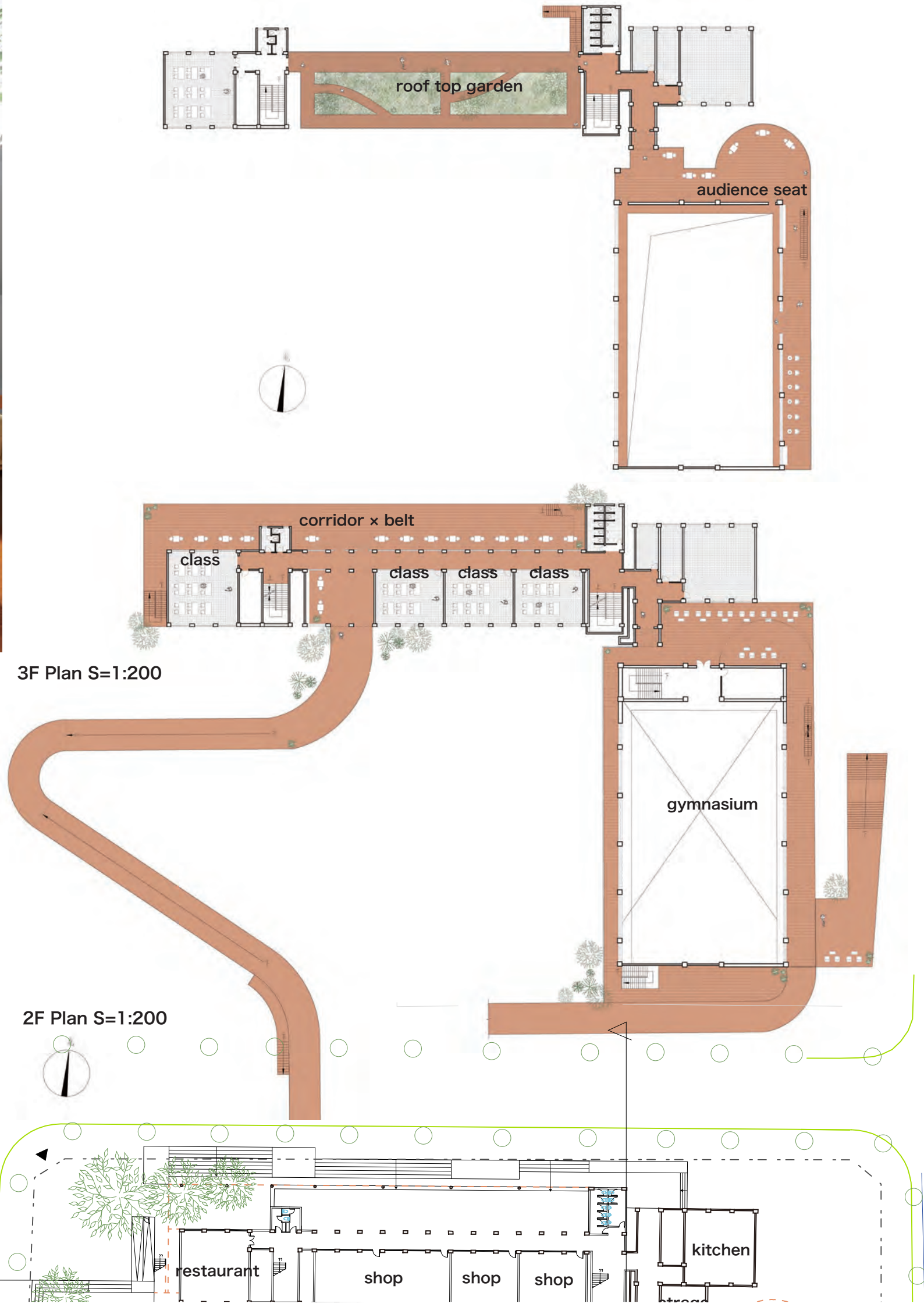
Guide the flow of people into the park by using slopes and draw the line of sight through elevated walkways

Activate the road

Change the local transportation form, incorporate new functions into the existing roads, similar to urban markets, to better stimulate the vitality of the neighborhood

Expand the Concept of Original Runway

transformthe traditional runway from the playground into a 3D runway



3F Plan S=1:200

2F Plan S=1:200

The site is **surrounded by tall buildings**.

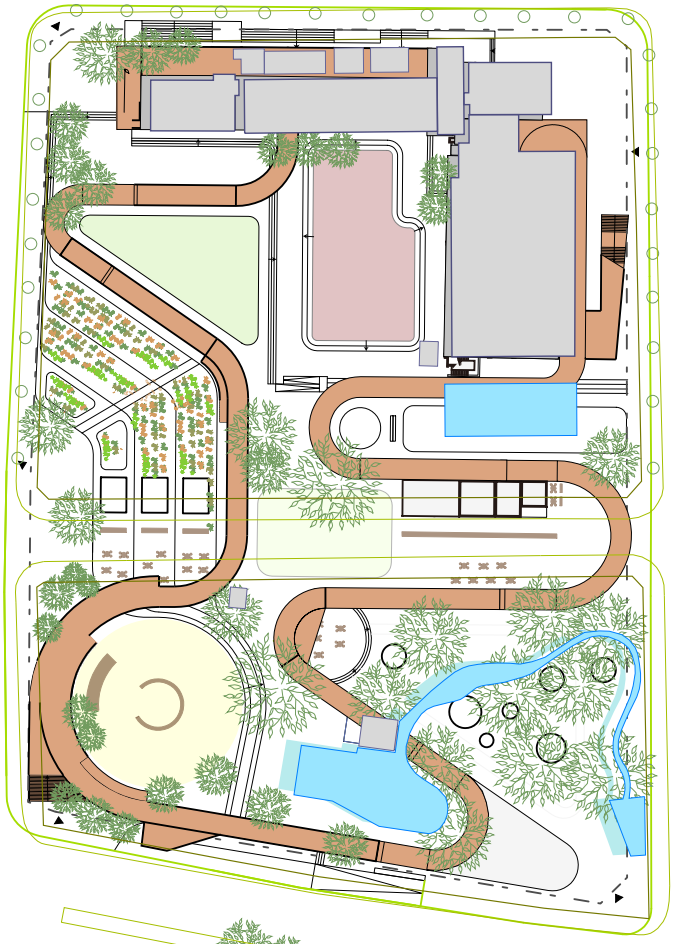
→so we created a shape that allows people to see the activity **from high above.**

→It is a **three-dimensional manipulation of people's activities.**

The track is integrated with the building to create an entrance that guides people into the inner courtyard of the site.

The track serves as a building terrace and canopy, opening up the previously enclosed street interface to attract

Serving as the main entrance of the building, the track penetrates into the building and combines with its circulation space. People are attracted into the building through grand staircases and ramps.



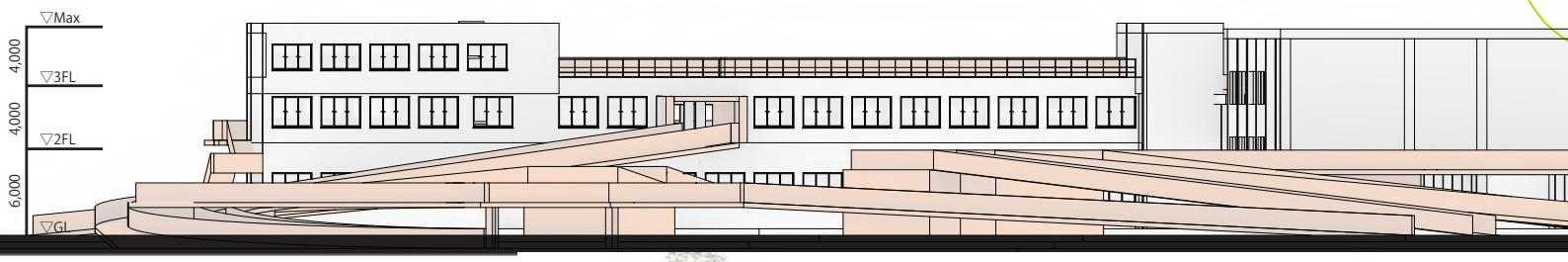
Located on the west side of the site's center, the track is combined with a stepped farm, creating an entrance plaza by recessing into the site to attract people.

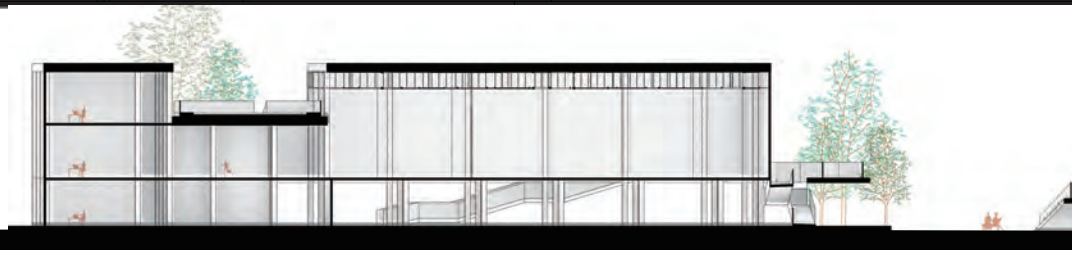
Swimming Pool Area
A skate park is created by utilizing the height difference of the swimming pool. The

At the original east-side intersection of the site's central road, the track descends to the ground level. People are attracted into the site and the track itself through ramps.

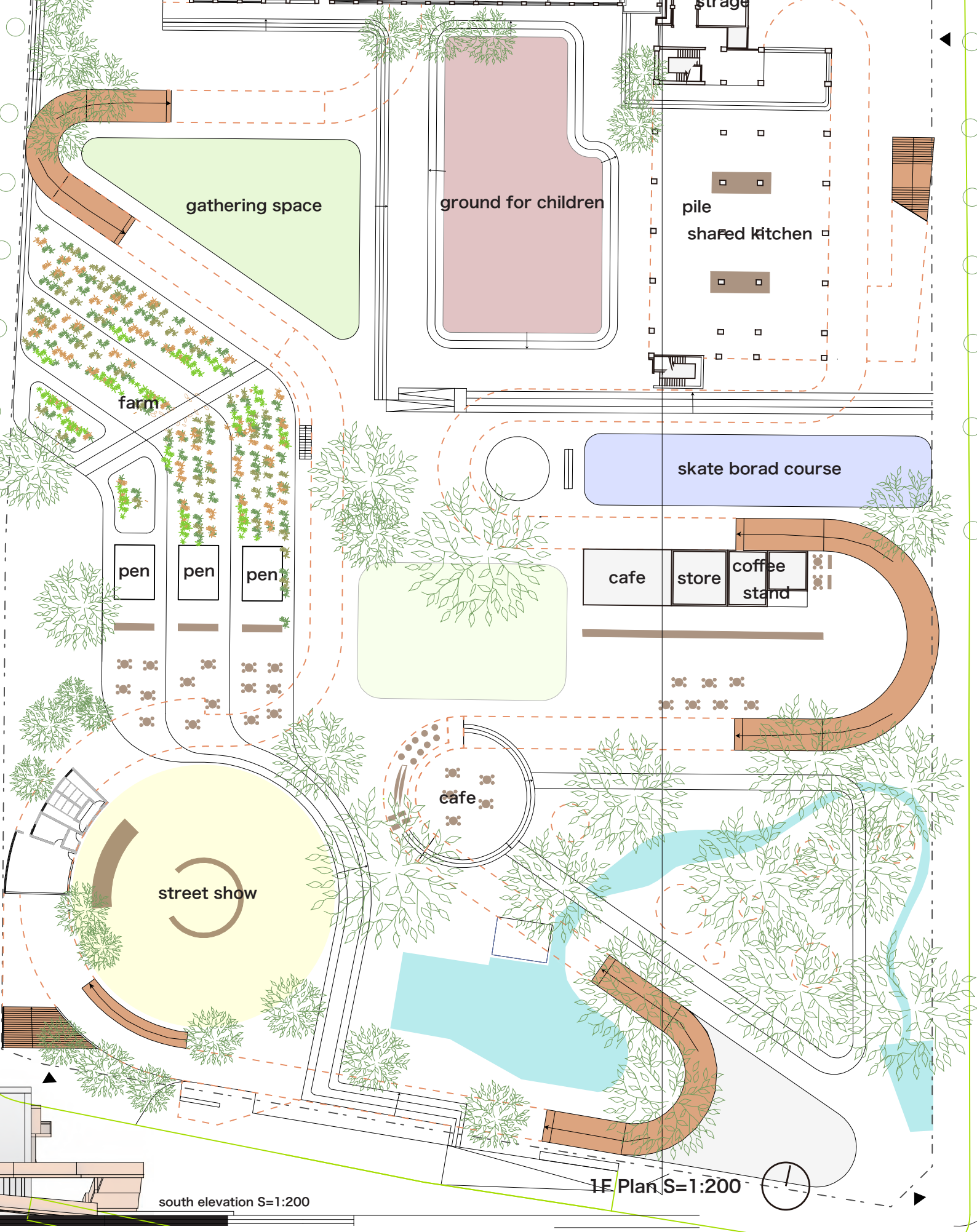
Close to the main road and adjacent to the bus stop, a large circular space is enclosed by the track to form a distinct gathering place, attracting people to enter.

The track descends to the ground level, and its clear directionality attracts people to enter the track and the forest area.8. North Building Facade





Section S=1:200


gathering space
ground for children
pile
shared kitchen
farm
skate borad course
pen
pen
pen
cafe
store
coffee
stand
cafe
street show
1F Plan S=1:200
south elevation S=1:200

NEO-KAISHO

GSES-NU / Tianjin U.

Joint Architectural and Urban Design Workshop 2025

Group 4

Machiyo
DUAN Yiyang
WANG Likun
CHATEL Margot Aurore Marthe
ZHAO Xueyang
Maiziya MAERDAN

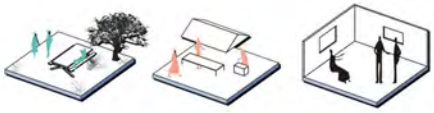
KAISHO 会所

Meeting place

A characteristic of Nagoya among the many castle towns in Japan:
Temples and shrines were placed in thelgapsicreatedin the center of about 100m square block to serve as public spaces in the town.

Social Significance

Only **MEANINGFUL** because of the **GATHERING** of the people



Meeting people | Knowledge exchange | Make community decision

Site Map

Spatial Significance

an open place that allows urban fabric to breathe in dense city areas

Functional Areas

Functional Areas

Site Condition

Vacant space of the school
There is an open space in front of the school that could accommodate various activities.

Height difference
There is a level difference between the site and its surroundings, making it difficult to see into the site and hard to access.

Plaza in the park
At the center of the park is a spacious plaza, and people often sit along its perimeter to relax.

Lake in the park
The park includes a water area that enhances the landscape and is a popular spot for people to watch and rest.

Disorderly buildings
This abandoned building requires revitalization through redesign and functional reintegration to bring vitality back to the area.

Old school building
The school has been abandoned as a result of the declining birth rate, but it holds potential for reuse.

Swimming poul
The school has been abandoned as a result of the declining birth rate, but it holds potential for reuse.

Smoking area
Workers frequently come here to smoke during their breaks, and the designated smoking areas are often busy.

People Analysis

Tourists
They will come here and live at the nearby hotels.

Residents
Living in this neighborhood, they have developed a strong sense of place tied to the activities that occurred here.

Workers
Working nearby, they seek a space to unwind during their breaks, and this park is a common spot where they go to smoke.

CONTEMPORARY KAISHO
現代会所

WHO

Office workes
A place to stay, relax, eat during breaks

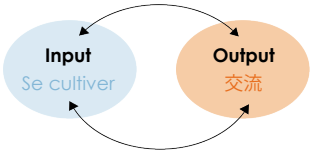
Residents
A place envoy social life

Tourists
A place discover the local culture/history

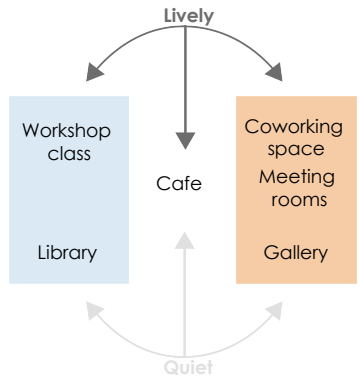
A place connect with nature

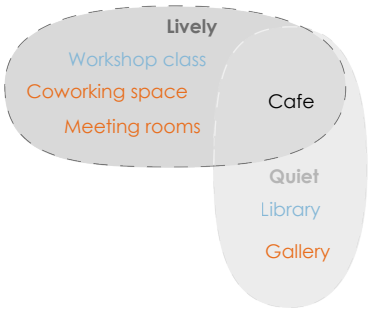
HOW

Socio-Cultural Hub
an exchange

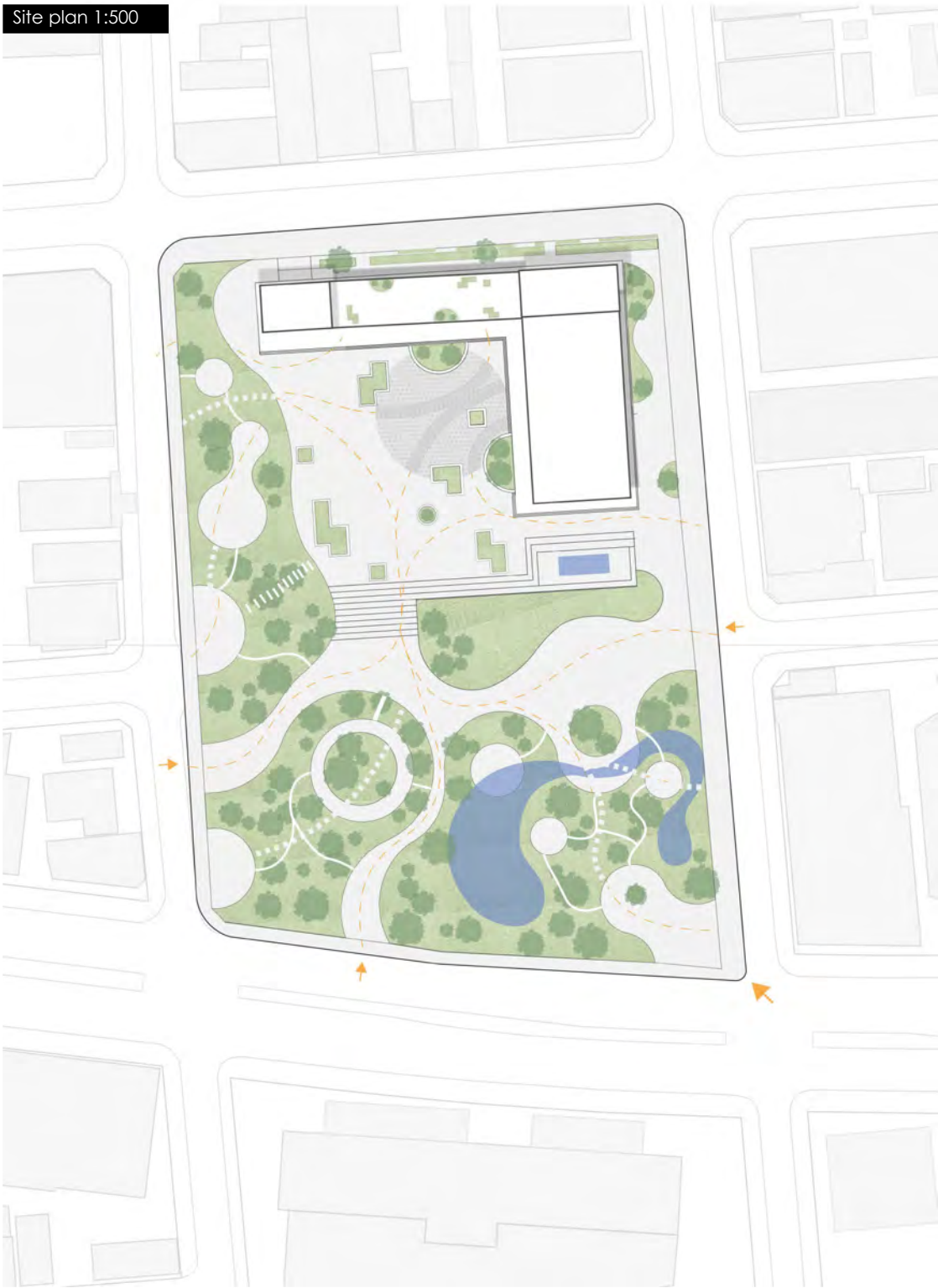


STRATEGY



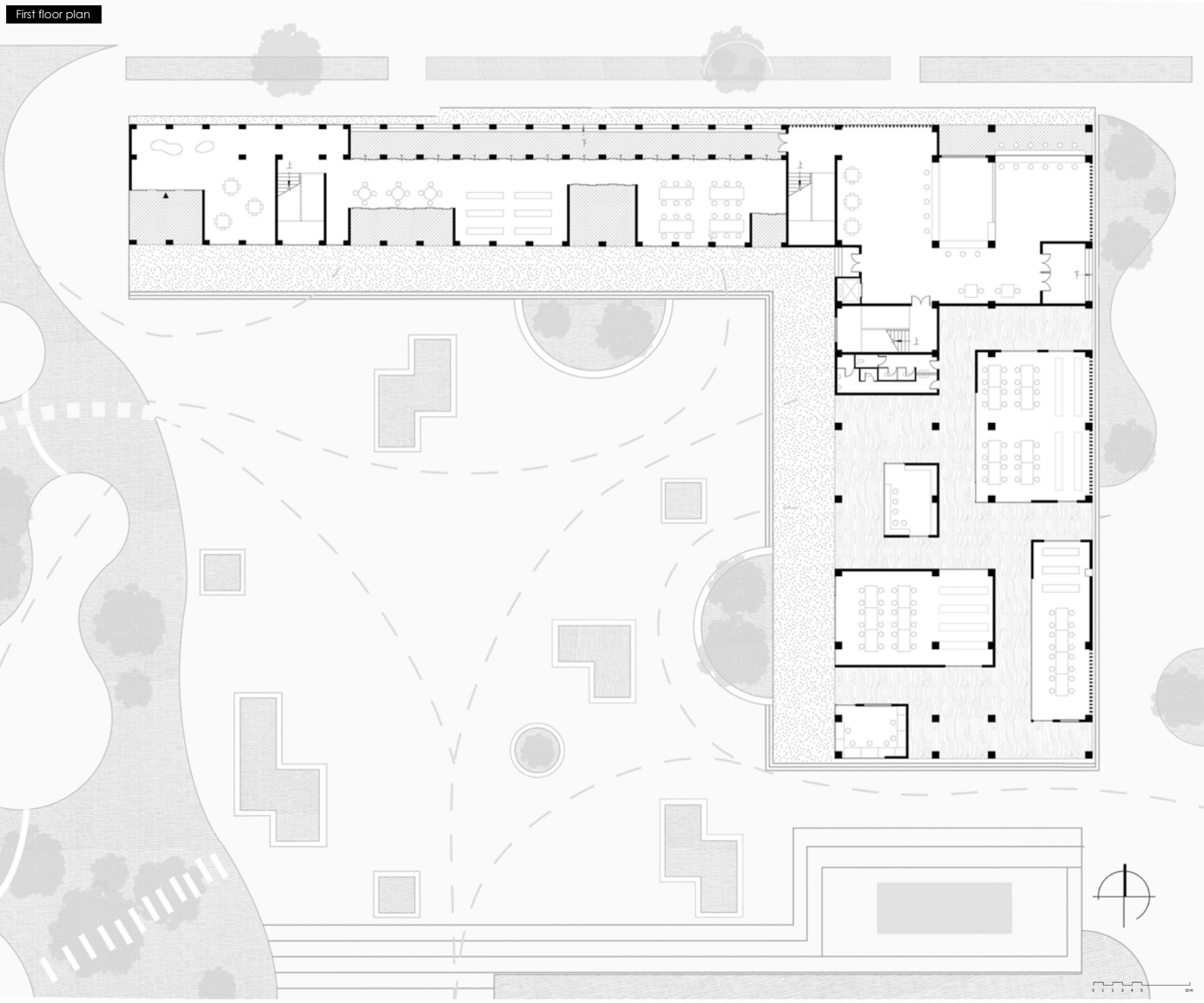


Site plan 1:500

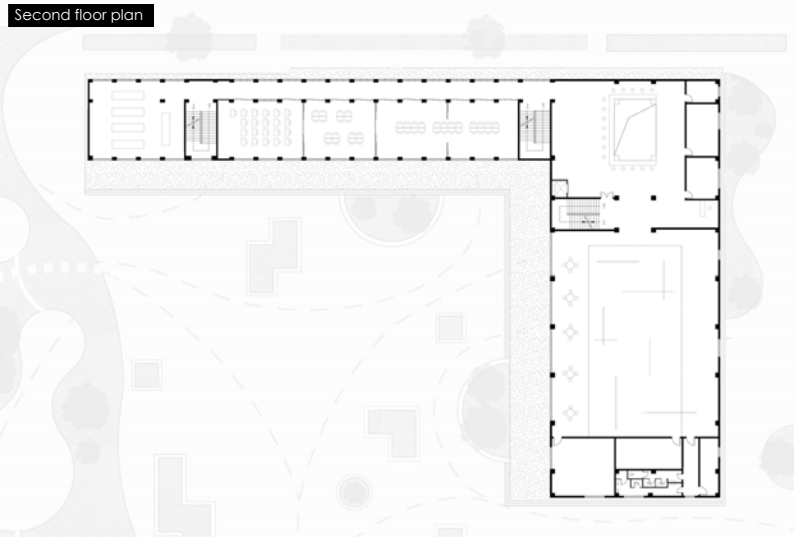


Section 1:200

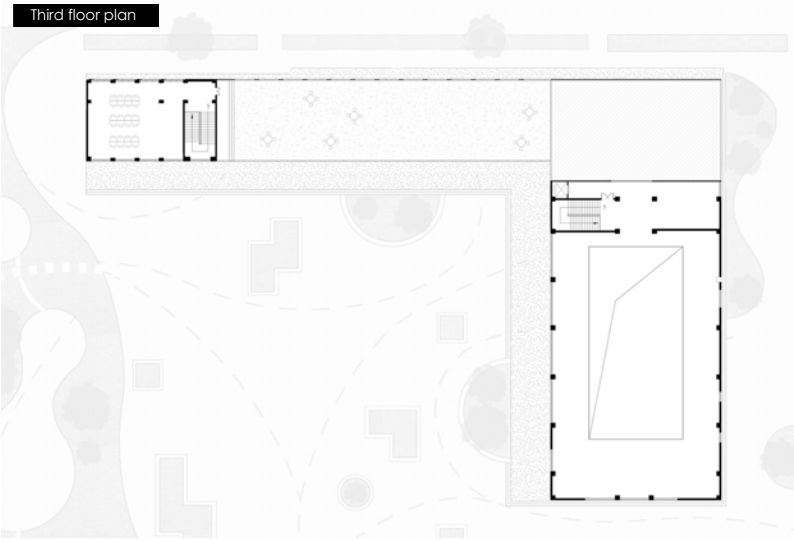
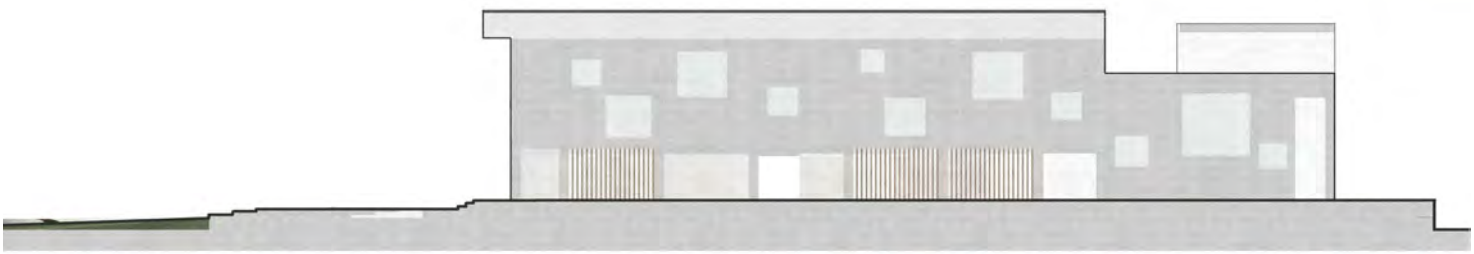
First floor plan



Second floor plan



Third floor plan



shared kitchen
meeting
coffee
handmade shop
gallery
meeting
library
lecture
shared dining
event
shared garden